

‘09年11月14日 太郎坊観望会

by kuma

11月14日。今シーズンの最後になるであろう富士山太郎坊で観望してきました。

今週は天気が悪くこの日も全国的に不安定な天候でしたが、東海地方の太平洋沿岸だけは夕方から晴れの予報が出たため、丹沢星の会としての観望会は中止にして有志による観望会の形で行い、最終的には総勢11名もの仲間が集まりました。

ここ数日の長雨の影響で太郎坊も地面のぬかるみが予想されましたが、幸運な事にアスファルトの第三駐車場ゲートがまだ開いており、おかげで地盤の緩みを気にすることなく機材を設置する事ができました。今夜は富士山では初めてのおでんを仕込む予定だったのでこれには有難かったですね。

我々以外では星屋さんと思しき車が2台最深部に居らしたのみで、今夜は広大な敷地でゆったりと観望を楽しめました。

今夜の機材はタカハシのFS102。

この筒を富士山に持ってきたのは本当に久しぶりです。

当初はDSO狙いでドブを持ってくるつもりでしたが、予定を変更してここ最近観望頻度の高い重星狙いに切り替えました。太郎坊にしては珍しく湿気が多そうだったので、対物レンズ、アイピース、ファインダーの三ヶ所にヒーターを巻いています。

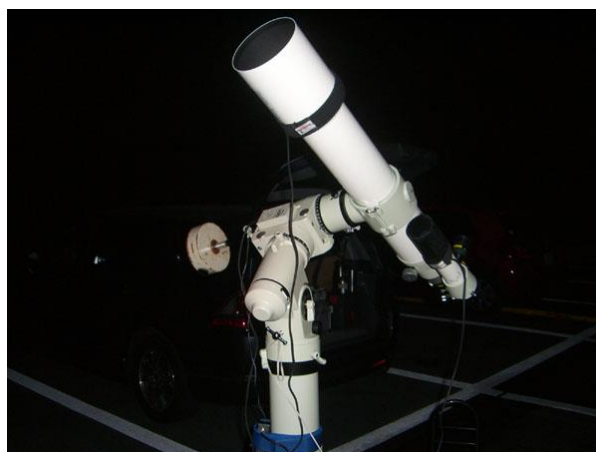


photo kimata

日没時点ではまだ雲が多く残っており、晴れ間は三割程度。ちょうど天頂から西側が晴れていたのので、まだ薄明の残る中、シーイングのチェックを兼ねて100倍でこと座のダブルダブルを見たところ、何とこれが分離しない

先日は8cm60倍強でも分離が確認できただけにちょっとガッカリ。まあこの時期だとこのシーイングは珍しいことでもなく、今夜はそれに見合った倍率での観望になりそうです



photo kimata

おでんの仕込みを終えたはるパパ会長の指導により、初心者のはくちんさんが観望の勉強中？

雨女の有難くないレッテルを貼られかけていたにもかかわらず、先月の長野遠征に続き二回連続の晴れ空をゲットして見事に名誉挽回。

今夜は防寒装備も新たに増強して気合い十分でした

雲間から顔を出した木星を見たところ、西側に3個のガリレオ衛星が等間隔に並んで見えます。アミーゴさんによると19時半頃にエウロパとガニメデの部分掩蔽が見られるとの情報が。この後もしばらく観察を続けていると、外側の二つが徐々に接近し、19時45分頃僅かに南北にずれた状態で重なりました。相変わらずシーイングは良くなかったけど、ガニメデとエウロパの大きさの違いもはっきりと判り、なかなか興味深い眺めでした。

その後も続々と仲間が到着。頃合い良く鍋からおでんの良い匂いが漂い、皆の空腹感もより増したようです。早速皆で鍋をつつき始めます。味も良く染みて美味でした。今年からおでんもレパートリーに加えようかな。



photo urashima

序盤は秋の対象から。

γ And、 α PsC、 γ Cet、66Cet、 ζ Aqr、 γ Ari、 π Ari、 ε Ari、6Tri、15Tri など。

γ And は相変わらずゴージャスな輝き。 α PsC はギリギリで分離。 π Ari は10等級のC、D星もOKで4重星の全容が判る。15Tri は重星仲間のKussiさんお勧めの対象で、主星の淡黄色が美しい広角重星。私も初めて見ました。

22 過ぎからほぼ満天の星空になり、ここ太郎坊にしてはかなり上級の空です。透明度も素晴らしく、秋から冬の天の川が頭上に横たわって見えます。

Sekiya さん撮影の冬の星座たち。

リコーのコンデジによる撮影ですが、僅か 2 分の露出でここまで写るのですね。散光星雲の赤にはちょっと弱いみたいですが、天の川のザラついた様子もよく判ります。



photo sekiya



photo sekiya

Sekiya さん撮影のおおいぬ座とカノープス

夜半過ぎには**カノープス**がその姿を現しました。

アマゾンさんがいち早く見つけて教えてくれましたが、皆には見えているのに私のヘタレ目ではその姿を捉える事が出来ない!

凝視を続け、そらし目でようやく見つける事が出来ましたが、どうやら老眼のみならず視力の低下まで進んだようです。

それにしても富士宮方面の光害が酷いね。



※2 枚とも Kenko ソフトン A を装着

オリオンが高く昇ってきたので何人かの方に NGC2169 (37Cluster) を見てもらいますが、なかなか「37」には見えなかったようでした。やはり 10cm の光量では「7」が判り難いかな。

数字シリーズ第二弾としてシリウスの上にある「-3」 cluster を導入。これは何とか形が判ってもらえたようでした。

続けて冬の重星たち。トラペジウム、 β Ori、 ζ Ori、 σ Ori、145CMa、H3752、H3780、 α Gen、 δ Gen、12Lyn など。12Lyn は今夜のコンディションだとかなりの難物。トラペジウムは 4 個のみ。H3752 は低倍率で見ると M79 が同一視野にギリギリ収まるが、シーイングが悪くてこの倍率だと重星の分離が厳しい。冬のアルビレオ 145CMa は相変わらず素晴らしい輝きを放っていました。

今夜は他の機材もそこそこ見ました。ミヤウチの 10cm セミアポ、14cm アポに Sky90 ツインと大型の双眼が多かったおかげで、天の川周辺の散開星団を幾つか楽しませてもらいました。

中でもヤスさんの Sky90 ツインで見た M45 は微かですがメローペの星雲まで見えて大変見事でした。透明度が良かった何よりの証でしょう。

夜明け前には土星も姿を見せたので久し振りに見てみました。相変わらずシーイングがボロボロでしたが、何とか串刺しの姿だけは判りました。初心者の二人にも環の存在は判ったみたいだし、まあ土星だと識別できただけでも良かったじゃないですか。

最後に昇って来た細い月にも筒を向けましたが、感想は言うまでもなし。



うらしまさん撮影の星景集合写真。

東の空では既に薄明が始まっており、富士山をバックに西に傾いた冬の星座たちが見えますか？

photo urashima

朝焼けを見ながら佇む二人。うーん、なかなか絵になる一枚だ。

薄明の空には細い月と金星が見えています。



photo urashima

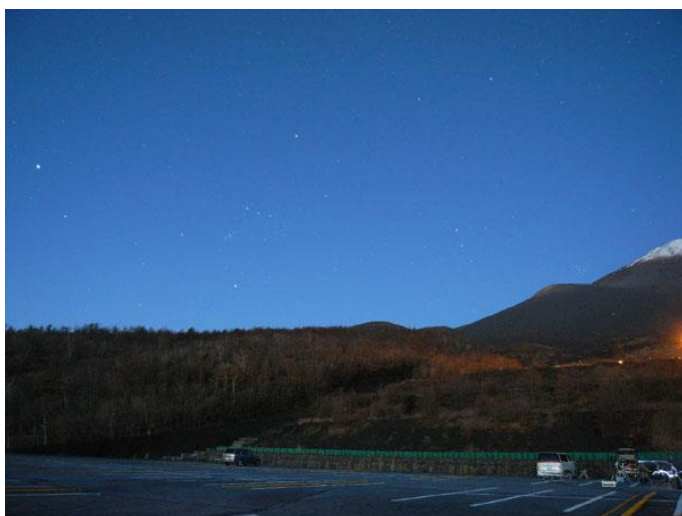


photo sekiya

背後では薄明に埋もれたオリオン座が西に傾いています。

1分程度の固定撮影でも結構写るものなんですね。

この写真では場内が明るく見えますが、実際はまだかなり暗いです。

今夜は風もほとんどなく一晩を通して快適に過ごせたおかげで、参加のほぼ全員で朝まで完走してしまいました。

それにしても全員揃って朝まで完走って最近なかったんじゃないかな。

しかもメンバーの大半は貫徹だよ。女性陣もなかなかタフだな〜[3](#)

今シーズンの五合目はおそらく今日が最後。来月から春までの間は、また暖かい場所を求めて彷徨う事になりそうです。

今年こそは一度南伊豆まで行ってみたいのですが、果たしてどうなる事やら。 了